

リレーフォーライフ（RFL）高知 2019 に参加して

広報局 広報戦略部 安岡 義仁

令和元年 10 月 26 日（土）・27 日（日）に RFL 高知 2019 に参加しました。士会として今年で 6 回目の参加になり、作業療法ならびにがんに対するリハビリテーションの広報・啓発活動として、リレーウォークの参加と今回初めて作業療法啓発パネルを設置させていただきました。作業療法啓発パネルの説明と合わせて、がんの闘病者や闘病経験者（サバイバー）、そのご家族（ケアギバー）や多職種がどのようなことに関心を持ち、医療や作業療法に対する貴重なご意見やご要望を聴かせていただきました。また、各テント・ブースへの積極的な意見交換も行い、他職能団体の参加の工夫なども聴かせていただくことができました。多くの方々のご要望やご感想を通して、士会として RFL に参加することが 1 つの社会貢献事業になっていると、改めて気づく機会となりました。また、緩和ケア病棟の看護師の方より、作業療法士の役割について、「作業療法士さんはすごい、患者さんの悩みや本音を聞きながらしっかり訓練している」とお褒めの言葉もいただきました。がんのリハビリテーションについて、私たちがしっかり学ばなければならないと痛感しました。

今回の士会の取り組みが RFL 高知の実行委員の皆様目に留まり、RFL 高知の HP への掲載依頼もいただきました。1 つのイベントに参加し、広報啓発活動を行うことで、様々な団体とのつながりが構築されていくことが今後の士会にとっても重要になることだと思いました。

今後も、一人ではできない活動を士会活動として実施し、社会や地域に貢献していきたいです。



左から 2 番目 安岡氏

サバイバー、ケアギバーの皆様からの作業療法（士）へのご意見の一部を掲載させていただきます。

良いと思う点	ご要望
<ul style="list-style-type: none">・緩和ケアの OT には感心している。・悩みや辛さを聞きながらリハをしているのはすごい。・ポータブルトイレを紹介してもらい、良かった。・リハを通して丁寧に聞き取っている事。 （どのような暮らしをしてきたか、などの生活史）・年齢や経験年数に関係なく申し送りをしているので助かっている。	<ul style="list-style-type: none">・介助用具などの紹介を積極的にして欲しい。・がん相談支援センターを伝えて、活用して欲しい。・明日に希望がもてるような関わりをしてもらいたい。・継続的な生活の視点やがんとの付き合い方などで、作業療法士の皆様ができることは、たくさんあるのではないかと。